

くまぐすサーチ



くまぐす先生

Vol.3

里地・里山・里海～私たちと生き物が作る環境～

ここでは動画の中で紹介した生物や場所を一目でわかるようにしてあるぞ。
ぜひこの資料を活かして各地にある和歌山の自然を実際に見て感じてきてほしい!

1 人間も生き物のつながりの中で生きている(里山)

ウメの生産地として有名な、みなべ・田辺地域。そこでウメの花を飛び回るニホンミツバチを発見!ウメが受粉をして実をつけるのに欠かせない存在じゃ。そんなハチは人間が炭作りをするために守ってきた森を好むという。人間が関わることで受け継がれてきたさまざまな生き物がくらしやすい環境「里山」を紹介するぞ!



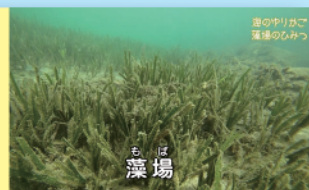
2 水田が育む生き物と環境(里地)

里地里山の環境を残そうと活動が続けられている海南市のピオトープ孟子を舞台に、トノサマガエルやメダカなど、田んぼのまわりのいろいろな生き物を観察しよう。生き物の営みを詳しく見る「くまぐすスコープ」では、水の中の小さな生き物たちの食物連鎖にも注目するぞ。



3 海の環境を未来につなげる(里海)

海にも里地里山と同じようなつながりがあるのは知っているかな?日高町では「藻場」を守り育てる取り組みが行われている。エサが豊富で流れもおだやかになる藻場では、生き物がたくさん!「くまぐすスコープ」では、アマモが光合成することも紹介するぞ。



4 人間の生活の変化が引き起こす問題

ここでは「ナラ枯れ」の問題を紹介するぞ。原因となっているカシノナガキクイムシが増えた理由を探るため、時間をあやつる「くまぐすスコープ」を発動!人間が電気やガスを使うようになって、森で薪を取らなくなったことが理由のひとつらしい。私たちのくらしと生き物たちのくらしは深くつながっていることを知っておこう。



くまぐす先生の ひとことクイズ!

動画の中ではたくさんの生き物たちが紹介されているが、どういった特ちょうがあるかわかるかな? 動画を見て、下の○○や●●の部分を埋めてくれ!

- | | | |
|----|------------|---|
| Q1 | ニホンミツバチ | 花の少ない時期に梅の花から蜜をもらう代わりに●●を助けたり、ウバメガシなどの○○○の森へ蜜を集めに行くことが多いんじゃ。 |
| Q2 | アマモ | 藻場の一つで、別名「▲▲▲▲▲▲」とも呼ばれる。小さな生き物たちがくらす場所になったり、△△△をすることで酸素を供給したり、さまざまな役割を果たしている植物じゃ。 |
| Q3 | カシノナガキクイムシ | ナラやシイ、カシなどの樹木の仲間が枯れてしまう「■ ■ ■ ■」の原因で、□ □ □ □をエサにして増えてしまう昆虫なんじゃ。 |

答えはうらページの一番下にあるぞ!





人間も生き物のつながりの中で生きている(里山)



提供：みなべ・田辺地域
世界農業遺産推進協議会

2月から3月にかけてウメの花が咲き、夏には実が取れる植物じゃ。ミツバチたちにとっては、花が少ない時期に蜜が取れる貴重な存在なんじゃ。



提供：みなべ・田辺地域
世界農業遺産推進協議会

古くから日本の野山にくらすニホンミツバチは植物から蜜を集める一方で、受粉を助ける役割を果たしているんじゃ。



ドングリがなるウバメガシはカシの木の仲間で、紀南地方に多くみられる。実は和歌山県の県木(けんぼく)にも指定されているのは知っていたかな？

水田が育む生き物と環境(里地)



池や水田付近に生息するトノサマガエルは、4月から6月頃にオスが盛んに鳴いてメスを呼ぶ様子が観察できるぞ。

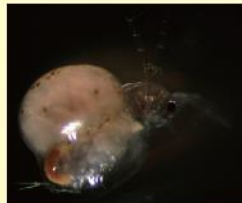


池や水田などで見ることができるミナミメダカ。近年は開発などの影響で、生息環境が悪化し、絶滅危惧種に指定されるほど個体数が減ってきているんじゃ。



提供：有本智(NPO法人ピオトープ孟子)

絶滅危惧種にも指定されるサシバは渡り鳥としても有名じゃ。春から夏の間日本へやってきて、繁殖をするんじゃ。



提供：葛西湖博物館

タマミジンコは甲殻類の1種で、エビやカニと同じ仲間じゃ。水田や水路などで多く見つけることができるが、体長は非常に小さく、1mm前後しかない生き物じゃよ。



肉眼では見ることができない微生物の仲間ミドリムシは動物でありながら、植物のように「光合成」ができる性質を持った不思議な生き物なんじゃよ。

提供：葛西湖博物館

海の環境を未来につなげる(里海)



海の中で育つ植物アマモの生えた海底は、別名「海のゆりかご」と呼ばれる。潮流をやわらげ、外敵から身を隠す場所にもなるため、水中にくらす多くの生き物にとって大切な場所なんじゃ。



熱帯・温帯の陸近くの海に生息するホラは、海面上をジャンプすることがあるのじゃが、なぜ飛び上がるのか、その理由はまだわかっていないんじゃ。



ナマズの仲間であるゴンズイは、水深の浅い岩しょう付近で見ることができ。背びれと胸びれに毒のトゲを持っているので、不用意に触らないように気を付けるんじゃ。

人間の生活の変化が引き起こす問題



ヤシ科の植物シュロは、ふさふさとした繊維状の樹皮がとても特ちょう的じゃな。成長がとても遅いが、寿命はなんと100年以上もあるんじゃ。



提供：有本智(NPO法人ピオトープ孟子)

目の周りの白い部分が特ちょう的なメジロは花の蜜が大好物!和歌山県の県鳥にもなっている、小さくてかわいらしい野鳥なんじゃよ。



提供：和歌山県森林整備課 和歌山県林業試験場

カシノナガキクイムシはナラ類やシイ・カシ類などの広葉樹の幹に小さなトンネルを掘り、そこで繁しよくするんじゃよ。



自然学習や研究活動をするときは事前に連絡をして、許可をもらうようにするんじゃよ!

くまぐす先生の探索ポイント

ピオトープ孟子 <https://mo-ko.jp/>

■TEL=073-484-5810

■E-Mail=info@wanpaku.pya.jp

(事務局・海南市わんぱく公園内)

